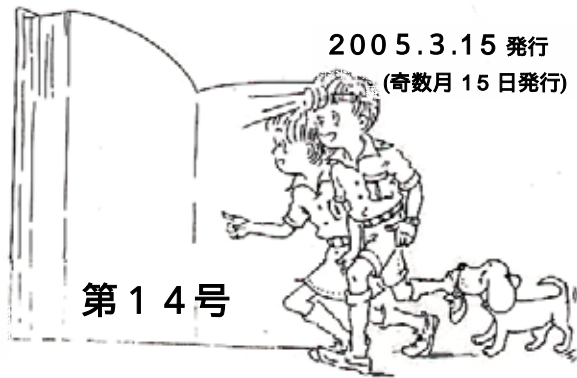


にのみやまちとしょかん 図書館だより

第14号



特集

戦争のことを伝える本 ~児童書より~

今年には戦後60年。二宮町でも、ガラスのうさぎを中心に戦争のことを考える催しが予定されています。今回の特集では、子どもたちに戦争の悲惨さを伝える本のなかから、子どもの目から見た戦争や空襲体験が描かれているものを中心に集めてみました。子どもと一緒に戦争について語り合うきっかけになればと思います。

高木敏子さんの本

p3 二宮ゆかりのコーナーもご覧下さい

『ガラスのうさぎ 新版』

高木敏子著 武部本一郎画
/金の星社/2000/㊦
……実際の戦争体験に基づいて綴った名作

『けんちゃんとトシせんせい』

高木敏子文 狩野ふきこ絵
/金の星社/1994/㊦
……5さいのけんちゃんと、やさしいトシせんせいの集団保育疎開での出来事

画像なし

『めぐりあい - ガラスのうさぎと私 - 』

高木敏子著 /金の星社/1984/914㊦
……『ガラスのうさぎ』を通じての人とのめぐりあいや家族のことを綴ったエッセイ

シリーズ

『「戦争と平和」子ども文学館』

(全20巻別1巻)長崎源之助(ほか)編集
/日本図書センター/1995/918㊦
……「空襲」「学童疎開」など14のテーマにわけて、戦争児童文学作品87点を収録したシリーズ

画像なし

画像なし

『東京大空襲ものがたり』

早乙女勝元作 有原誠治絵
/金の星社/1991/㊦
……電柱だけが知っている、炎の夜のこと

『うしろの正面だあれ』

海老名香葉子著 千葉督太郎画
/金の星社/1985/914㊦
……戦争で、すべては失われましたが、幼いころの思い出は、わたしの大切な宝もの

『猫は生きている』

早乙女勝元作 田島征三絵 /理論社/1980/㊦
……一夜で十万人も人の命を奪うほどの空襲の中、猫はしたたかに生きました

東京大空襲

紙芝居

『コスモス』

渡辺享子脚本・画 /童心社/1993/C1
……広島へ行った友だちは、コスモスが咲き並ぶ季節になっても帰ってはきませんでした

『マアをかえしてください』

わしおとしこ脚本 おほまこと画 /童心社/1995/C7
……春子とあちゃんと犬のマアは大の仲良し。ところがある日兵隊さんがきて……

えほん

『えんぴつびな』

長崎源之助作 長谷川知子絵
/金の星社/1984/㊦E11t
……きれいに削られた小さな鉛筆のおひなさまは、わたしの大事な宝物

『ななしのごんべさん』

田島征彦作 吉村敬子作
/童心社/2003/㊦E㊦
……大阪の空襲では、だれも探してくれず、身元もわからない ななしのごんべさんが、たくさんいたそうです

『ちいちゃんのかげおくり』

あまんきみこ作 上野紀子絵
/あかね書房/1982/㊦E㊦
……悲惨な戦争のかけにちいさいのちをとじた女の子のすがたを、静かに描いた絵本

『お母ちゃんお母ちゃん むかえにきて - 集団疎開の絵本 - 』

奥田継夫文 梶山俊夫絵
/小峰書店/1985/㊦E㊦
……「かつ日までがんばってきます」疎開第八特別列車は、先生と子どもだけをのせて発車した

詩

『シオンがさいた』

尾上尚子作 渡辺有一画 /リーブル /2000/911㊦
……子どもの目の高さで見た戦争の記憶をつづった詩集

『しゃしんのなかの おとうちゃん』

- 少年少女詩集 -
川崎洋子詩 浅野輝雄絵
/らくだ出版/2001/㊦911㊦
……大阪の部隊にいる おとうちゃんから しゃしんが
おくられてきた

画像なし

画像なし

ブックリスト

『きみには関係ないことか - 戦争と平和を考えるブックリスト - 97-03』

(90-96版もあり)
かもがわ出版 /2004/ JL 028.0㊦97

『平和を考える絵本』

全国学校図書館協議会 /1992/ JL019.5㊦

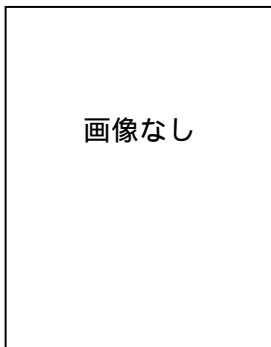
『1800冊の「戦争」』

- 子どもの本を検証する -
かもがわ出版 /1991/ JL319.8㊦

ここで紹介した本は、4月末まで児童特設展示(こどものほんコーナーの入口)にあります。

もうすぐ春。新しい季節のスタートに、新たな一步を踏み出してみませんか。そこで、3月の展示は、「挑戦・チャレンジ」をテーマに本を集めてみました。

展示テーブルよりおすすめの1冊は、『**生きることは始めること 七十歳の挑戦**』（依萌子著 / 海竜社 / 914タワ）です。



55歳で苦心惨澹の末、運転免許を獲得した次には、陶芸教室に続いて萌子美術館を開館。そして70歳にしてパソコンに挑戦。

年齢を重ねていくこと、何かを始めることの大変さと戸惑い。そのこと以上に、始めることによって新しいことを知る喜び。著者の「いまからでも遅くはない。やってみましょう。始めてみましょう。やらないで後悔するより、やってみて苦労するほうがいい」という言葉に、年齢ではない、“始めてみよう”と思う気持ちが大切なんだと気づかされる1冊です。

新しく入った本 CD DVD



『犬との別れ』

(三田誠広著 / バジリコ / 914ミタ / 2004.11)



作家の三田誠広さんが、生後二カ月のシベリアン・ハスキー、リュウノスケを飼い始めてから、犬が死ぬまでの十五年間にわたる犬との生活を描いたエッセイです。初めて犬を飼うことになって犬を擬人化して捉えようとするところや、一緒に湖を泳ぐ様子が印象的です。犬の成長と並行して、高校生時代からの自分を振り返り、作家としての方向性についての迷いも描かれています。

寝たきりになった犬を、夫婦二人で少しでも元気付けようとする最後の一ヶ月に、家族の一員となったことが伝わってきます。人間より寿命の短い動物と暮らすことは、つまり看取ることであると感じさせられます。

刑事はなぜ「デカ」なのか？

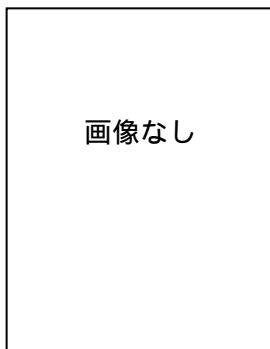
刑事は私服の警察官。日本の警察制度は明治時代に始まるが、あの時代、私服と言えば和服になる。そこで刑事が着たのは「角袖」という四角の袖の和服だったので「角袖巡査」と呼ばれていた。この「カクソデ」を「デソクカ」「クソデカ」など隠語で呼んでいたところから、次第に略されて「デカ」となった、とのこと。



映像 DVD

『昭和子どもキネマ』第1～3巻

(KC・ワークス / 778.1シ / 2004.6)



戦後、娯楽の少なかった子供たちのために各地の劇場で上映された、ニュース映画・映画作品がDVDになりました。第1巻は、当時の子供たちの様子を伝えるニュース映画、第2巻、第3巻は、子供たちが出演した映画作品です。

モノクロフィルムの中に映し出される、復興に向けて歩み始めた日本。懐かしさを感じるその風景の中で、多くの子供達が生き生きと描かれています。もしかするとそこに子供の頃のあなたがいるかもしれません。

録音 CD

『新美南吉童話選集』1～3

(岸田今日子朗読 / エニー / 964ニ / 2001)

新美南吉は、1913年愛知県に生まれ、16歳より童話・童謡の創作をはじめ、太平洋戦争が激しくなりつつあった1943年に29歳の若さで逝った童話作家です。

代表作「ごん狐」は、南吉18歳のときの作品ですが、すでにこの中に、人と人あるいは人と動物など孤絶したものの同士が、どうしたら通じ合えるのかという、南吉が生涯をかけて求め続けたテーマが提示されています。

「牛をつないだ樁の木」は、南吉の晩年に書き上げられた作品ですが、作品中の海蔵さんの「わしはもう、思い残すことはないがや。こんな小さな仕事だが、人のためになることを残すことができたからのオ」という独白には、南吉自らの創作活動への思いを重ね合わせているようにも思えます。こういった民話的メルヘンと呼ばれる作品群は、晩年に一気に書き上げられました。

岸田今日子さんの朗読で、子どもから大人まで、ご家族で楽しんで頂けると幸いです。

図書館発見 → → → 園芸コーナー [2階]

図書館2階、階段を上ってすぐのところにるのが園芸コーナーです。ここではガーデニング・家庭菜園・庭木の手入れや育て方など園芸に関する本を集めています。

この図書館は旧園芸試験場跡地に建てられ、東側には果樹公園が隣接しています。また、二宮の地は園芸が盛んで、多くの人々が楽しみ、携わっていることもあり、より多くの方に利用していただけるようにと、このコーナーを設けました。園芸の季節になると、書架はガランとして、その利用の多さに驚きます。

このコーナーでよく読まれている本の1冊に『家庭菜園大百科』(板木利隆著/家の光協会/GB626.9I)があります(写真右)。この本は二宮にお住まいの板木利隆氏(元神奈川県農業総合研究所所長、現技術コンサルタント)によるもので、育て方や作業がとてもわかりやすく説明されています。これからは、外での作業も多くなり楽しみな季節が訪れます。このコーナーをおおいに活用して、草花や樹木と親しんでいただければと思います。



『家庭菜園大百科』

ベストオーダー
2005年1月～2月
この期間に予約が多かった本です

【児童書】

- 第1位 ダレン・シャン 12 運命の息子
" 魔法使いハウルと火の悪魔(空中の城 1)
- 第2位 ハリー・ポッターと不死鳥の騎士団 上・下
- 第3位 ダレン・シャン 11 闇の帝王
" ダレン・シャン 4 パンパイア・マウンテン
" 13歳のハローワーク
- 第4位 ダレン・シャン 2 若きパンパイア
" アブダラと空飛ぶ絨毯(空中の城 2)
- " パーティミアス - ゴーレムの眼 -
" うちにかえったガラゴ

【一般書】

- 第1位 日暮らし 上・下/宮部みゆき
- 第2位 対岸の彼女/角田光代
- 第3位 電車男/中野独人
- 第4位 ダ・ヴィンチ・コード 下/ダン・ブラウン
- 第5位 ダ・ヴィンチ・コード 上/ダン・ブラウン

二宮ゆかりの人物

高木 敏子 / 『ガラスのうさぎ』

『八月もおわりに近づいた。父が、やっと満州から帰国してきた。わたしと妹たちは、二学期の始業式にまにあうよう疎開した。神奈川県中郡二宮町という、半農半漁の町である。(中略)母の知人の紹介でお世話になることになったこの家でも、ご主人は出征して留守で、おばあさんとお嫁さんとお孫さんだけの五人家族だ。(中略)西山さんといって、この町では旧家で、おばあさんもお嫁さんも、それはほんとうによく世話してくれた。

麦ごはんだったが、そのころにはめずらしく、三度三度食べられたし、おやつには、さつまいもや落花生だの、果物なんかも食べさせてもらった。海岸なので、なんとか魚も食べられ、畑もあって、野菜は家で食べるくらいはつくっていたようである。』

(『ガラスのうさぎ 新版』より)

東海道線二宮駅南口の階段を降りると、クスノキの下にガラスのうさぎを抱く一人の少女の像があります。おそらく誰もが一度は目にしているこの像は、『ガラスのうさぎ』の「敏子」がモデルとなっています。

著者の高木敏子さんは昭和7年(1932年)東京本所区(現・墨田区)に生まれました。高木さんの少女期はまさに戦争のまっただ中でした。生まれる前年に満州事変が始まり、昭和19年、小学校6年生のときに、ここ二宮の西山さん宅に、親元を離れて疎開。昭和20年3月10日の東京大空襲では、母と妹達を失います。遺体は見つからず、焼け跡からは父が作った半分溶けた一体のガラスのうさぎが見つかりました。さ



らに8月5日には二宮駅で米軍機の機銃掃射によって父を亡くしてしまいます。そのわずか10日後、太平洋戦争は終戦となりました。

高木さんは、この戦争の悲惨さを風化させてはいけないうと『ガラスのうさぎ』、『けんちゃんとしせんせい』などの著作を通して世の中に訴え続けています。ご自身も大病をされましたが、日本各地で講演も行っています。二宮町にも何度かお見えになって、ご自身の辛い体験を、静かな、けれども力強い語り口で子ども達を二度と戦争へは行かせないと話されています。『ガラスのうさぎ』は1980年にテレビドラマ化され、大変な話題になりました。今春、『ガラスのうさぎ』はアニメ化され、二宮町で上映会が行われます。

二宮駅南口にあるガラスのうさぎ像

昭和56年に平和を願う町民の浄財により建てられました。

このコーナーは、二宮にゆかりのある人物や文学作品等をご紹介します。ここで紹介された人物や作品関連の情報がありましたら、図書館までお寄せください。

参考資料 『ガラスのうさぎ』(高木敏子著/金の星社/1979/効) / 『ガラスのうさぎ 新版』(高木敏子著/金の星社/2000/効) / 『めぐりあい-ガラスのうさぎと私-』(高木敏子著/金の星社/1984/914 効) / 『けんちゃんとしせんせい』(高木敏子著/金の星社/1994/効) / 『もういや「お国のために」には-ガラスのうさぎを溶かさないで-』(高木敏子著/岩波書店/1986/289.1 効) / 湘南にのみや観光MAP 改訂版(二宮町役場経済環境部経済課編/二宮町役場経済環境部経済課/2001/NC1)

お知らせ・お願い

住所や氏名、電話番号の変更がありましたら、お知らせください

住所変更の場合は新規に登録された時と同様に住所・氏名が確認できるものが必要です。変更後の保険証・免許証・自分宛の郵便物等をご持参ください。

当日の新聞をご利用される方へ

お一人で当日の新聞を何紙もお持ちになると、多くの方が閲覧できなくなります。実際にカウンターなどでご意見をいただくこともあり、お一人1紙ずつご利用くださいますようご協力お願いいたします。

読者アンケートの集計結果報告

第12号(2004.11/15号)で折り込み配布したアンケートの結果が出ました。ご回答いただいたのは、52名の方からで“週一回以上図書館に来る”“女性”の方からの回答が全体の約8割と最も多く寄せられました。年齢別では10代の方が約4割を占めました。楽しみにしているコーナーのベスト3は、1位「新しく入った本・CD・AV」、2位「特集」、3位「二宮ゆかりの人物・作品」でした。特集でとりあげて欲しいこととして、「有名人にインタビュー」「他市町村の図書館事情」。ご意見ご要望では、「大人向け子供向けに分けた紙面作りを」などいったご意見をいただきました。全体的に好意的であたたかいご意見が多く、編集側としてはとても励みになりました。ご協力ありがとうございました。

利用者の声 Q&A

Q：私が今まで借りた本の記録は残っていますか？

A：よく聞かれることではありますが、過去の貸出記録は残っていません。図書館では、プライバシーの保護のため「誰が、何を借りていたか」という記録は、本などの資料が返却された時にすべて残らないシステムになっています。ご理解ください。

行事

くわしくはお問い合わせください。

2005年4月1日で
二宮町図書館は創立30周年!

ちいちゃいおはなし会

3月 9日(水)
4月 13日(水)
5月 18日(水)

おまけのおはなし会 おはなし会とおりがみあそび

3月 19日(土)
4月 16日(土)
5月 21日(土)

わらべうたであそぼう!

3月 18日(金)
4月 15日(金)
5月 20日(金)

雑誌のリサイクルコーナー

3月 27日(日)
4月 24日(日)
5月 22日(日)

展示テーマ

2月 | 一般 / 『星をめぐって』
| 児童 / 『おやすみなさい』
| A V / 『宇宙』

3月 | 一般 / 『挑戦・チャレンジ』
| 児童 / 『さあ、いこう!』

特設展示

1月・・・『義経』 『第132回 芥川賞・直木賞発表』
2月・・・『働く犬 - ほじょ犬 -』

ひとつだけ ~ 編集後記にかえて

友人との会話で「携帯電話の着信メロディは必要か」という話になったことがある。着信音が鳴ったらすぐ電話に出るのだから必要ないとか、いま思えばたいして議論する話ではなかったのだが、その着メロのことで思い出すことがある。ちょうど携帯電話が出始めたころのこと。電車の中で、前に座り合わせた男性の携帯電話が鳴った。着信音はピンクレディーの曲で、イントロ部分が繰り返し鳴り響いていた。男性は携帯電話を入れた大きな旅行カバンの中を必死になって探し始めたがなかなか見つからない様子。男性の焦っている姿と車内に鳴り響くのどかな(?)着メロの曲がなんだか対照的で、男性には失礼だが見ていて面白かった。残念ながら図書館内でもときどきいろんな着メロを耳にすることがある。くれぐれも図書館内ではマナーモードに設定の上、館内での通話をご遠慮下さいね。(青)